
第20回日本うつ病学会総会
第39回日本ストレス学会・学術総会

趣意書

募金/共催セミナー・シンポジウム・教育講演
/市民公開講座/広告掲載/機器・書籍展示

2023年7月21日（金）～22日（土）

仙台国際センター 展示棟

第20回日本うつ病学会総会

会長 鈴木 映二

(東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室 教授)

第39回日本ストレス学会・学術総会

大会長 山本 賢司

(東海大学医学部総合診療学系精神科学 教授)

ご 挨拶

このたび第20回日本うつ病学会を開催させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。今回のテーマは「うつ病、双極性障害と共存する社会を目指して」といたしました。新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、北朝鮮問題など多くの国内外の問題を抱え、人々が明るい未来図を描きにくくなっている現在において、うつ病、双極性障害はより身近な存在となっています。しかし、社会は依然として、それらの疾患とうまく共存できていないように思われます。それどころか、過去の魔女裁判、ホロコーストなど、不安定な社会情勢が真っ先に矛先を向けるのが弱者である精神障害者であることを歴史が物語っています。人々の心が不安定になりがちな今でこそ、私たち精神医療に携わる一人一人が当事者と手を取り合って、うつ病、双極性障害と共存する社会の実現に向けてリーダーシップを発揮すべきではないでしょうか。

多職種連携を重視する本学会において、様々な職種の専門家が、治療、基礎研究、社会支援など様々な面から、今回のテーマに関しての議論を進めていただけたらと思います。そのために、当事者の知恵をお借りすべく各団体の方にも参加していただく予定であります。もちろん、本テーマに限らず、様々な観点からのご発表も大歓迎です。

杜の都仙台は、夏も涼しく快適にお過ごしいただけるとと思います。会場である仙台国際センターは、青葉城址のふもと広瀬川が近くを流れる緑豊かな環境にあります。加えて仙台駅まで地下鉄で5分（仙台空港から仙台駅は25分）と大変交通の便の良い場所に位置しております。ひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしております。よろしく願いいたします。

本学会を開催するにあたり、その経費は参加者からの会費を主体に考えておりますが、必要経費を賄うには十分ではございません。本学会総会のプログラムを充実させ、高い成果を得るためには、各方面からのご支援をお願いせざるを得ない状況です。つきましては、本総会の趣旨にご賛同頂き、何卒宜しくご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、拠出頂きました協賛金・寄附金につきましては、各社に公表いただいております。

末筆ながら、貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

令和4年12月吉日

第20回日本うつ病学会総会

会長 鈴木 映二

東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室 教授



ご 挨拶

平素から日本ストレス学会に対し格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、第39回日本ストレス学会・学術総会を2023年7月21日（金）、22日（土）に仙台国際センター展示棟において開催させていただくこととなりました。今回のテーマは「ストレスによるこころの病とその対処」としており、昨今の不安定な世界情勢、COVID-19感染症およびその影響による生活・職場環境の変化、急速な景気の悪化に伴う雇用や所得情勢の悪化など様々なストレスによるこころの病について、幅広い領域の先生方に日頃の研究成果をご発表いただき、議論をしてみたいと思っています。ストレス科学は生理学を中心として発展してきた歴史がありますが、現代では人文科学、自然科学、社会科学など幅広い領域に跨って発展を続けています。今回のテーマであるこころの病についても、精神医学、心身医学的な視点以外に、その病因や病態に関しては生理学、生化学、分子生物学的知見の構築が重要と考えられますし、その対応については心理学、看護学、社会学的なアプローチが必要となります。様々な視点からストレス反応が関係するこころの病について議論し、そのメカニズムを明らかにすることや、有害な反応を軽減すること、そして、好ましい反応を社会に啓発していくことは、各領域を総合した学際的な視野のもとに、ストレスの問題に深く近代科学のメスを加え、新しい発想を模索する学際的研究団体である日本ストレス学会の目指すところであると考えています。

また、本学術総会は第20回日本うつ病学会総会と同時開催をさせていただくことがすでに決定しており、同学会にはうつ病や双極性障害などの臨床に携わっている多くの医師、看護師、心理師、ソーシャルワーカーなどの医療関係者、福祉関係の支援者、そして、ピアサポーターとして支援に携わっていらっしゃる方々の参加が見込まれております。これを機に、日本うつ病学会の参加者に、ストレス科学から見たこころの病についての研究知見を供覧頂き、今後に向けた建設的な議論を期待しております。このような機会は、今後の医学やストレス科学の発展に繋がり、牽いては、より豊かで暮らしやすい社会の実現に還元されていくものと確信しております。

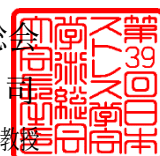
つきましては、本日本ストレス学会の趣旨にご賛同いただき、皆様のご協力を賜りたく是非ともお願い申し上げます。

令和4年12月吉日

第39回日本ストレス学会・学術総会

大会長 山本 賢

東海大学医学部総合診療学系精神科学 教授



開催概要

1. 会の名称
第20回日本うつ病学会総会
第39回日本ストレス学会・学術総会
2. テーマ
第20回日本うつ病学会総会
うつ病、双極性障害と共存する社会を目指して

第39回日本ストレス学会・学術総会
ストレスによるこころの病とその対処
3. 会長・副会長
第20回日本うつ病学会総会
会長 鈴木 映二（東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室 教授）
副会長 高階 憲之（特定医療法人松涛会 南浜中央病院 理事長）

第39回日本ストレス学会・学術総会
大会長 山本 賢司（東海大学医学部総合診療学系精神科学 教授）
副大会長 三上 克央（東海大学医学部総合診療学系精神科学 准教授）
4. 開催日時
2023年7月21日（金）・22日（土）
5. 会場
仙台国際センター 展示棟
6. 開催形態
ハイブリッド開催 （2022年12月現在）
7. 開催機関等の名称
日本うつ病学会 日本ストレス学会
8. 会議の構成・日程（予定）

日付	午前	お昼	午後
7月21日（金）	開会式・講演・シンポジウム	ランチョンセミナー	講演・シンポジウム・一般演題ポスター発表・イブニングセミナー
7月22日（土）	講演・シンポジウム ワークショップ	ランチョンセミナー	講演・シンポジウム 一般演題ポスター発表・ ワークショップ・閉会式

9. 透明性ガイドラインに関する同意について

学術集会に要した費用について各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」に基づく情報公開に同意します。なお、同意書への押印など控えさせていただきます。

10. 大会事務局

第20回日本うつ病学会総会大会事務局

事務局長 福地 成（東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室 講師）

〒983-8536宮城県仙台市宮城野区福室1-15-1

TEL: 022-259-1221 FAX: 022-259-1232

第39回日本ストレス学会・学術総会大会事務局

事務局長 大西 雄一（東海大学医学部総合診療学系精神科学 講師）

〒259-1193神奈川県伊勢原市下糟屋143

TEL:046-393-1121 FAX:046-394-5532

11. 各種共催のお申込み先

第20回日本うつ病学会総会・第39回日本ストレス学会・学術総会 スポンサー事務局

株式会社コンベンションリンケージ LINKAGE東北

〒980-6020 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 20F

TEL : 022-722-1657 FAX : 022-722-1658

E-Mail : sp-jsmd20@c-linkage.co.jp

12. 各種共催費およびご寄付の振込先

【振込口座】

銀行名 七十七銀行（0125）

支店名 一番町支店（205）

口座種別 普通

口座番号 5048099

口座名 第20回日本うつ病学会 第39回日本ストレス学会 事務局長 福地 成

口座名フリガナ ダイニジユツカイニホンウツビヨウガツカイ ダイサンジユウキユウカイニホンストレスガ

13. 収支予算書

【収入の部】

科目	数量(目標)	単価	金額
1 参加費	900		7,800,000
うつ病学会 医師(会員) ストレス学会(会員)	280	9,000	2,520,000
うつ病学会 医師(非会員) ストレス学会(非会員)	180	11,000	1,980,000
うつ病学会 コメディカル(会員)	80	6,000	480,000
うつ病学会 コメディカル(非会員) ※プログラム・抄録集含	300	9,000	2,700,000
学生(会員)	35	2,000	70,000
学生(非会員) ※プログラム・抄録集含まず	25	2,000	50,000
2 プログラム・抄録集販売	50	2,000	100,000
3 学会補助金			1,600,000
日本うつ病学会		1,000,000	1,000,000
日本ストレス学会		600,000	600,000
4 共催セミナー			34,870,000
(1) ランチョンセミナーA (300-400席) 60分	6	1,870,000	11,220,000
ランチョンセミナーB (160-180席) 60分	7	1,650,000	11,550,000
(2) イブニングセミナーA 60分	1	1,320,000	1,320,000
イブニングセミナーB 90分	1	1,980,000	1,980,000
(3) 共催シンポジウムA 90分	1	1,980,000	1,980,000
共催シンポジウムB 120分	1	2,640,000	2,640,000
(4) 共催教育講演	1	1,980,000	1,980,000
(5) 市民公開講座	1	2,200,000	2,200,000
5 商業展示出展料			3,410,000
(1) 基礎小間/スペース小間	10	330,000	3,300,000
(2) 書籍展示	10	11,000	110,000
6 広告掲載料			2,002,000
(1) プログラム・抄録集			1,452,000
表2 1頁 4色	1	220,000	220,000
表3 1頁 4色	1	198,000	198,000
表4 1頁 4色	1	220,000	220,000
後付1頁 4色	2	165,000	330,000
後付1頁 1色	2	110,000	220,000
後付1/2 1色	4	66,000	264,000
(2) ホームページバナー広告	5	110,000	550,000
7 寄付金助成金			2,500,000
寄付金	1	1,000,000	1,000,000
仙台市コンベンション開催助成金	1	1,000,000	1,000,000
仙台市コンベンション開催助成金(ハイブリッド)	1	500,000	500,000
合計			52,282,000

【支出の部】

科目	合計
1 事前準備費	8,400,000
(1) 事務局運営費	1,200,000
(2) 登録関連費	2,000,000
(3) 通信運搬費	700,000
(4) 各種印刷・製作費	4,500,000
3 当日運営費	31,732,000
(1) 会場関連費	7,732,000
(2) 運営人件費	7,000,000
(3) 機材・備品関連費	11,000,000
(4) 看板装飾関連費	4,000,000
(5) 諸経費(交通費、宿泊費、昼食、料飲、保険等)	2,000,000
5 WEB配信関連費	3,000,000
6 関連行事費	2,000,000
7 招聘関係費	3,000,000
8 事後処理費	150,000
9 業務委託費	4,000,000
合計	52,282,000

14. 組織（プログラム委員会）

【第20回日本うつ病学会総会】

秋山 剛	NTT東日本関東病院
市来 真彦	東京医科大学 学生・職員健康サポートセンター
稲田 健	北里大学医学部精神科学
井上 猛	東京医科大学精神医学分野
井原 裕	獨協医科大学埼玉医療センター
薄井 健介	東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室
大塚 耕太郎	岩手医科大学医学部
大坪 天平	東京女子医科大学附属足立医療センター
岡本 泰昌	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 先進医療開発科学講座・精神神経医科学教室
尾崎 紀夫	名古屋大学 大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学
蔭山 正子	大阪大学高等共創研究院 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
加藤 忠史	順天堂大学
川崎 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室
河西 千秋	札幌医科大学医学部神経精神医学講座
窪田 信子	特定非営利活動法人日本双極性障害団体連合会（ノーチラス会）
坂元 薫	赤坂クリニック
仙波 純一	東京愛成会たかつきクリニック
高橋 清美	日本赤十字九州国際看護大学看護学部
田中 克俊	北里大学大学院
張 賢徳	日本うつ病センター六番町メンタルクリニック
寺尾 岳	大分大学医学部精神神経医学講座
中川 敦夫	聖マリアンナ医科大学神経精神科
中川 伸	山口大学
永田 利彦	壱燈会 なんば・ながたメンタルクリニック
野末 聖香	慶應義塾大学看護医療学部
馬場 元	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
平島 奈津子	国際医療福祉大学三田病院精神科/赤坂医療心理・福祉マネジメント学部心理学科
松尾 幸治	埼玉医科大学医学部精神医学
三村 將	慶應義塾大学医学部精神神経科
宮崎 弘美	ママブルーネットワーク
三輪 亜梨沙	ReOPA
森信 繁	吉備国際大学保健医療福祉学部
山田 和夫	横浜尾上町クリニック
山田 和男	東北医科薬科大学
山田 悠平	精神障害当事者会ポルケ
渡邊 衡一郎	杏林大学医学部精神神経科学教室

（五十音順、敬称略）

寄附金募集要項

1. 募金の名称 第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会寄附金
2. 募金の目的 第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会の開催運営資金の調達
3. 募金目標額 1,000,000円
4. 募集期間 2022年12月1日（火）～2023年7月20日（木）
5. 寄付金使途 第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会の準備および運営費用の一部として充当する

6. 寄附金を必要とする理由

第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会開催にあたり、日本うつ病学会より100万円、日本ストレス学会より60万円の補助金を受け、また参加費として約780万円の収入を見込んでおりますが、開催にあたり、プログラムを充実させ、高い成果を得るためには、各方面からのご支援をお願いせざるを得ない状況です。

7. 申込方法

- ① ウェブサイト (<https://www.c-linkage.co.jp/jsmd20/>) の「協賛のご案内」ページよりお申し込みください。
- ② 領収書の発行はいたしません。振込時の用紙控をご利用ください。
- ③ 税法上の取扱い：本寄付金につきまして免税の措置はございません。

8. 寄付金の管理方法

第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会の会計規則により管理いたします。

共催セミナー/共催シンポジウム・教育講演/市民公開講座 募集要項

1. 募集枠

種別	時間	席数	共催費（税込）	枠数
ランチョンセミナー A	60分	300~400席	1,870,000円	6枠（7月21日・22日）
ランチョンセミナー B	60分	160-180席	1,650,000円	7枠（7月21日・22日）
イブニングセミナー A	60分	400席	1,320,000円	1枠（7月21日）
イブニングセミナー B	90分	400席	1,980,000円	1枠（7月21日）
共催シンポジウム A	90分	400席	1,980,000円	1枠（7月21日または22日各1枠）
共催シンポジウム B	120分	400席	2,640,000円	1枠（7月21日または22日各1枠）
共催教育講演	60分	400席	1,980,000円	1枠 ※要日程調整
市民公開講座	協議の上決定	協議の上決定	2,200,000円	1枠 ※要日程調整

※プログラム全体の都合で変更になる可能性もありますので予めご了承ください。

※レイアウト状況により、座席数は変動する場合がございます。

2. 共催費

■以下の費用は共催費に含まれます。

- ① 会場費及び設備備品
- ② 控室料
- ③ 音響・照明使用料
- ④ 発表機材、備品
- ⑤ PCオペレーター（講演会場）
- ⑥ 万が一、開催形態の変更によりWEB配信が必要になった場合の基本配信機材

※録画等、追加でかかる費用は貴社にてご負担いただきます。

■以下の費用は共催費に含まれませんが、オプションにてお申込が可能です。詳細につきましては共催費確定後、別途「共催セミナー実施要項」にてご案内いたします。

- ① 食事代：参加者用弁当・軽食・飲み物、座長・演者打合せ食事等
- ② 人件費：運営スタッフ（アナウンス係、進行計時係、資料・弁当・軽食配布係、誘導係等）
- ③ 看板・表示物：会場表示看板、氏名掲示（座長・演者）等
- ④ 追加機材：同時通訳、収録（録音・録画）、控室の機材等
- ⑤ 管理費（上記手数料15%）

※座長・演者の謝礼・交通費・宿泊費、貴社共催セミナーのポスター・チラシ等の印刷費は共催費には含まれません。

※座長・演者の候補を選出されましたら、ご本人に打診される前にスポンサー事務局へご連絡ください。また市民公開講座に関しては、あらかじめ大会長とご相談ください。

3. 申込方法

- ① ウェブサイト (<https://www.c-linkage.co.jp/jsmd20/>) の「協賛のご案内」ページよりお申し込みください。
- ② 共催セミナーのテーマについては、お申込み時点の予定をご記入ください。
- ③ 日時・会場の調整後、結果をお知らせいたします。（4月中旬以降）
- ④ 請求書の発行日より1か月以内に指定口座へのお振込みをお願いいたします。
- ⑤ 領収書の発行はいたしません。振込時の用紙控をご利用ください。
- ⑥ 詳細につきましては別途スポンサー事務局からお知らせいたします。

4. 申込期限 2023年3月3日（金）

プログラム・抄録集広告掲載 募集要項

1. 広告媒体の名称 第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会
プログラム・抄録集
2. 広告媒体の形態 B5版無線綴じ(左綴じ)
3. 配布対象 日本うつ病学会会員、第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学
会・学術総会の参加者(非会員)
4. 発行部数 2,500部(予定)
5. 発行予定日 2023年6月(予定)
6. 媒体制作費 3,000,000円(予定)
7. 広告料総額 1,452,000円(予定)
8. 印刷形式 オフセット印刷
9. 広告掲載料

ページ割付は主催者に一任願います。選定理由は公表いたしません。予めご了承ください。限定ページ①*～③*:複数のご応募があった場合には、調整させていただきます。

番号	掲載面・頁種類	募集口数	掲載料(税込)
①*	表2(カラーB5・1頁)	1 口	220,000 円
②*	表3(カラーB5・1頁)	1 口	198,000 円
③*	表4(カラーB5・1頁)	1 口	220,000 円
④	後付(カラーB5・1頁)	2 口	165,000 円
⑤	後付(モノクロB5・1頁)	2 口	110,000 円
⑥	後付(モノクロB5・1/2頁)	4 口	66,000 円

10.お申込み方法

ウェブサイト (<https://www.c-linkage.co.jp/jsmd20/>) の「協賛のご案内」ページよりお申し込みください。領収書の発行はいたしません。振込時の用紙控をご利用ください。

11.広告原稿

完全版下またはデータ(イラストレーター、PDF)を郵送またはメール添付にてスポンサー事務局へ、2023年3月31日(木)までにご提出ください。

12.申込期限 2023年3月3日(金)

13.その他 申込企業1社につき「プログラム・抄録集」を1冊進呈させていただきます。

ホームページバナー広告掲載募集要項

1. 広告媒体の名称 第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会
ホームページ

2. 広告掲載料

ホームページ（バナー広告）

掲載位置	種類	掲載料(税別)	枠数
トップページ	バナー	100,000円	5

3. 媒体製作費用 800,000円（予定）

4. 広告料総額 550,000円（予定）

5. お申込み方法

ウェブサイト（<https://www.c-linkage.co.jp/jsmd20/>）の「協賛のご案内」ページよりお申し込みください。領収書の発行はいたしません。振込時の用紙控をご利用ください。

6. 広告原稿

電子データのみでの受付とさせていただきます。運営事務局宛にメール添付ファイルでお送りいただくか、CD-R、ファイル送信サービス等でご送付願います。サイズ等の詳細は別途ご案内いたします。

7. 申込期限 2023年3月3日（金）

機器展示・書籍展示 募集要項

1. スケジュール

【搬入・設営日時】 2023年7月20日(木) 9:00~18:00 (予定)

【展示実施日時】 2023年7月21日(金) 9:00~18:00 (予定)

2023年7月22日(土) 9:00~16:00 (予定)

【搬出・撤去日時】 2022年7月22日(土)18:00~(予定)

2. 会場

仙台国際センター展示棟 (宮城県仙台市青葉区青葉山)

3. 出展資格

第20回日本うつ病学会総会/第39回日本ストレス学会・学術総会の主旨をご理解いただける医療関連の機器・薬品・試薬等を製造又は取り扱う企業・団体

4. 出展料

基礎小間 330,000円 (税込) /1小間

書籍展示 11,000円 (税込) /机1本

5. 募集小間数 基礎小間：10小間／書籍展示：10本 (スペース小間を含む、予定)

6. 小間仕様 出展料には以下の費用が含まれております。

<基礎小間>

- ・小間 (間口1800×奥行900)
- ・バックパネル (H2100×W1800)
- ・社名板 (H200×W900) ※統一書体 (ゴシック体・スミ1色)
- ・蛍光灯 FL40W×1灯
- ・展示台1台※天板布 (白) 腰布付

※商品の上にかけるクロスは 御持参下さい。

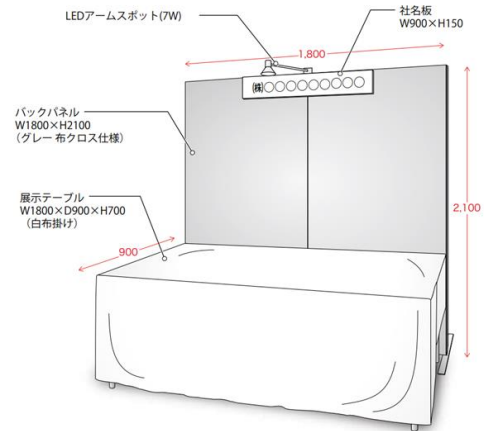
<書籍展示>

- ・机1本 W1800mm×D900mm (白布付)
- ②展示の準備から終了までの現場管理諸費用
- ③展示期間中及び設営・撤去時のスペース使用料

■以下の費用は含まれておりません。追加オプション（別途申込）となります。

追加オプションにかかる費用は、本会終了後、スポンサー事務局（株式会社コンベンションリンクージ）よりご請求させていただきます。追加オプション申込につきましては、別途「展示要項」にてご案内いたします。

- ① 社名板：ロゴ掲載
- ② 電気関連：電気供給、電気二次工事、各種ライト、コンセント等
- ③ 追加備品：パイプ椅子、各種スタンド、貴名受け等
- ④ 管理費：上記①～③の費用合計の15%



7. 小間の割当て

小間の割当ては出展物の種類、小間数・小間構成・実演の有無などを考慮し、申込み締切後に主催者が決定し、各出展者へ通知致します。出展者はこの割当てに対する異議申立ては出来ませんのでご了承下さい。また、出展者が主催者の承諾なく、小間の全部または一部の譲渡・交換を行うことはご遠慮下さい。

8. 変更・中止

主催者は不可抗力またはやむを得ない事情により、会期・開催時間などを変更、または開催を中止する場合があります。中止の場合、出展料は返金致しますが、出展者側でそれまでに要した費用は、各社のご負担となりますのでご了承下さい。

9. 注意事項

- 1) 各出展物の管理は出展者が責任を負うものとし、盗難・紛失・損害等について、主催は補償を含めた一切の責任を負いかねます。各社で保険に加入する等の措置をおとり下さい。
- 2) 出展者の行為により事故が発生した場合は、当該出展者の責任において解決するものとし主催者は、これに対し一切の責任を負いません。

10. お申込方法

ウェブサイト (<https://www.c-linkage.co.jp/jsmd20/>) の「協賛のご案内」ページよりお申し込みください。領収書の発行はいたしません。振込時の用紙控をご利用ください。

11. 申込期限 2023年3月3日（金）